

2012(平成 24)年度事業報告  
附 属 明 細 書

自 2012(平成 24)年 4 月  
至 2013(平成 25)年 3 月

公益財団法人 日中医学協会



# 目 次

公益財団法人移行後の最初の評議員、役員等の選任及び選定	1
事業報告	
ア 研究助成事業	
ア-1 日中笹川医学奨学金制度	3
1. 第34期研究者受け入れ事業	
2. 第35期研究者受け入れ事業及び来日前実施事業	
3. 次期制度	
ア-2 共同研究等助成事業	6
1. 2012年度助成金受給者	
2. 委員会の開催	
3. 共同研究等助成事業報告会	
ア-3 若手在留中国人研究者助成事業	9
1. 2012年度助成金受給者	
ア-4 中国人医師・研究者招聘事業	9
1. 松和会中国人医師招聘事業	
2. その他中国人研究者招聘	
イ 学術会議開催事業	
イ-1 主催事業	10
1. 日中医学交流会議	
イ-2 共催・後援事業	10
1. 2011年度医学生のための漢方医学セミナー	
ウ 医療協力事業	
ウ-1 専門家派遣事業	10
ウ-2 医療関連訪日団招請事業	10
ウ-3 訪中団派遣事業	11
ウ-4 乳幼児栄養交流事業	11
ウ-5 日中国際共同研究プロジェクト	11
ウ-6 経済産業省の医療の国際化に係わる調査事業（受託事業）	11
ウ-7 笹川医学奨学金進修生同学会事業及び在日研究者連絡会	13
エ 広報事業	
1. 機関誌「日中医学」の発行	15
2. 「NEWS LETTER」の発行	15
3. ホームページの拡充	15
4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力	15
5. 委員会の開催	15
総務報告	
I. 公益財団法人移行認定申請について	16
II. 役員等の選任及び選定について	
A. 理事・評議員の選任	17
B. 副会長・常任理事の選定	17
C. 2012年度の理事・監事・評議員	17
III. 会員拡大と募金活動について	
A. 会員数の推移	18
B. 募金活動	18
1. 年末寄付金・その他の寄付金	
IV. 協会運営に係る事項	
A. 理事会・評議員会の開催	18
B. 常任理事会の開催	18
C. 事業計画・財務委員会の開催	19
D. 日本財団の補助金について	19
資 料	
日中笹川医学奨学金制度第35期研究者名簿	20
別表1及び別表2	21

## 公益財団法人移行後の最初の評議員、役員等の選任及び選定

### 1. 評議員

2012年5月25日開催の公益財団法人移行後の最初の評議員選定委員会において、最初の評議員選定委員会設置・運営規則及び厚生労働大臣の最初の評議員の選任方法に関する認可に従い、35名被推薦者から16名が選任された。

評議員選定委員会

日時 2012年5月25日(金) 11:00~12:00

場所 日中医学協会 会議室

千代田区岩本町1-4-3 住泉KMビル6階

選定委員(5名)

緒方 剛 茨城県筑西保健所長  
(日中医学協会評議員)

金井 浄 公認会計士  
(日中医学協会監事)

比留間 聡 日中医学協会事務局  
(2012年4月30日付け退職)

木村 哲 東京通信病院院長

野村 和弘 東京労災病院名誉院長

出席(○印は出席)

委員 緒方 剛 ○ 委員 野村 和弘 ○

委員 金井 浄 ○ 委員 比留間 聡

委員 木村 哲 ○ 理事長 安達 勇 ○

評議員16名の選任

池田 裕 医療法人社団光陽会磯子中央病院  
院長

石館 光三 公益財団法人東京生化学研究会  
常務理事

一戸 達也 東京歯科大学水道橋病院院長

稲葉 裕 実践女子大学教授

緒方 剛 茨城県筑西保健所所長

金井 隆典 慶應義塾大学医学部准教授

黒川 顕 日本医科大学武蔵小杉病院院長

杉山 清 星薬科大学教授

曾根 智史 国立保健医療科学院国際協力研  
究部長

高橋 和久 順天堂大学医学部主任教授

高松 研 東邦大学医学部長

中島 信也 社団法人日本歯科医師会  
常務理事

根本 則道 日本大学医学部主任教授

範 江林 山梨大学大学院医学工学総合研  
究部教授

山口 建 静岡県立静岡がんセンター総長

山田 陽城 北里大学北里生命科学研究所教授

評議員(補充選任)候補者

2012年12月6日開催の第232回常任理事会で  
推薦されている候補者。

石井 正三 日本医師会常任理事

藤原 英憲 日本薬剤師会常務理事

寺本 明 東京労災病院病院長

庄田 隆 第一三共株式会社代表取締役会長

洪 愛子 日本看護協会常任理事

### 2. 役員等

2012年5月25日開催の第55回理事会・評議員  
会決議及び同7月12日開催の第230回常任  
理事会の推薦を経て、下記の通り同8月2日  
開催の臨時評議員会において選任され、同理  
事会において選定された。

理事18名の選任

安達 勇 静岡県立静岡がんセンター参与

池谷 田鶴子 順天堂大学国際交流センター  
運営委員

江藤 一洋 日本歯科医学会会長

大柳 治正 近畿大学弘徳学園近大姫路大学  
副理事長

小川 秀興 順天堂大学理事長

木村 政之 日本製薬団体連合会理事長

近藤 達也 独立行政法人医薬品医療機器総  
合機構理事長

酒谷 薫 日本大学教授  
篠崎 英夫 一般財団法人日本公衆衛生協  
理事長  
田平 武 順天堂大学大学院客員教授  
橋本敬太郎 山梨大学名誉教授  
羽生田 俊 社団法人日本医師会副会長  
林 謙治 国立保健医療科学院名誉院長  
平岡 眞寛 京都大学大学院医学研究科教授  
星合 昊 大阪府済生会富田林病院院長  
武藤徹一郎 がん研究会有明病院メディカル  
ディレクター・名誉院長  
森岡 恭彦 日本赤十字社医療センター  
名誉院長  
森山 紀之 国立がんセンターがん予防・検  
診研究センターセンター長

#### うち代表理事 2名の選定

森岡 恭彦 会長  
安達 勇 理事長

#### うち業務執行理事 4名の選定

江藤 一洋 医療協力事業担当  
酒谷 薫 学術会議開催事業担当  
田平 武 研究者助成事業担当  
林 謙治 広報事業担当

#### 監事 2名の選任

金井 浄 公認会計士  
杉本 恒明 公立学校共済組合関東中央病院  
名誉院長

#### 理事（補充選任）候補者

2012年12月6日開催の第232回常任理事会で  
推薦されている候補者。

尾身 茂 年金・健康保険福祉施設整理機  
構理事長  
高久 史磨 日本医学会会長  
日比 紀文 應義塾大学医学部教授

#### 移行後の副会長

横倉 義武 日本医師会会長  
高久 史磨 日本医学会会長  
大久保満男 日本歯科医師会会長  
児玉 孝 日本薬剤師会会長  
坂本 すが 日本看護協会会長

#### 移行後の顧問

趙 群 中国医科大学学長  
津田 喬子 日本女医会会長

## 事業報告の明細

### ア 研究助成事業

#### ア-1 日中笹川医学奨学金制度

2007年8月26日、日本財団笹川陽平会長と中国衛生部蔣作君副部長により調印された「第3次日中笹川医学奨学金制度協定書」は第35期生をもって終了する。

2012年度は、前年度に来日した本制度第34期生研究修了・帰国（8月）、2012年9月に来日した第35期研究者の受け入れ事業を行った。

#### 1. 第34期研究者受け入れ事業

(1) 来日：2011年9月6日(火) 30名来日

#### (2) 研究報告会

開催日：2012年8月22日(水) 10:00～16:45

場所：日本財団ビル 大会議室A、B

出席者：役員・委員・指導責任者等 57名  
第34期研究者 30名

内容：30名が橋本敬太郎日中笹川医学奨学金運営委員会委員長を座長とする研究者報告会で1年間の研究成果を発表した。各研究者は研究発表の前に、日本で1年間過ごした感想を日本語で発表した。

#### (3) 研究修了式・歓送会

開催日：2012年8月22日(水)

修了式17:00～17:40

歓送会18:00～19:30

場所：日本財団ビル 大会議室A、B及び食堂

出席者：役員・委員・指導責任者等 57名  
第34期研究者 30名

内容：尾形武寿日本財団理事長ご臨席の下、森岡会長から研究者に研究修了証が授与された。歓送会では、指導責任者、来賓らと交えて懇談した。

また、日本語で発表した「日本滞在中の感想」において、以下の研究者3名を表

彰した。

楊 徳剛 国立感染症研究所ハンセン病研究センター感染制御部第八室

任 明軍 日本医科大学脳神経外科学

李 恵 京都大学大学院医学研究科消化器内科学

#### (4) 帰国

帰国日：2011年8月23日(木)

第34期研究者30名は、研究者自身の手配で各空港から離日、帰国した。

#### 2. 第35期研究者受け入れ事業及び来日前実施事業

#### (1) 来日

2012年9月4日(火) 30名来日(名簿後掲)

#### (2) 歓迎式典・歓迎レセプション

開催日：2012年9月5日(水)

歓迎式典 17:00～18:00

歓迎レセプション18:20～20:00

場所：東京ガーデンパレス「平安」, 「天空」

内容：式典には、指導責任者、来賓、関係役員等126名が出席した。国会議員の江田五月氏、浜本宏氏、山崎摩耶氏が来会、江田氏より議員を代表してご祝辞を頂戴した。また、出席した指導責任者にたいして研究者の受け入れに対するお礼と協会事業への協力をお願いした。

#### (3) 研究開始

2012年9月6日(木)、研究者は各自研究先へ移動し、7日(金)から研究を開始した。

#### (4) 第25回箱根セミナーの開催

開催日：2013年3月1日(金)～3日(日)

場所：ホテル箱根アカデミー

内容：日本財団笹川陽平会長講演、橋本敬太郎日中笹川医学奨学金運営委員会委員長を座長に「笹川医学奨学金制度で学んだ経

験をどのように日中共同研究に活かしていくか？」をテーマにワールド・カフェ方式で研究者がグループ討論を行った。

#### (5) 来日前実施事業

##### ① 語学研修(衛生部主催)

期間：2012年4月9日(月)～7月13日(金)

場所：衛生部中国医科大学培訓中心(遼寧省瀋陽市)

概要：英語既習者は日本語研修を、日本語既習者は英語と日本語の研修を受講した。

##### ② 語学研修修了時面接試験への協力

期間：2012年7月12日(木)

場所：衛生部中国医科大学日本語培訓中心(遼寧省瀋陽市)

概要：衛生部が語学研修修了時に日本語上達度チェックのために行う面接試験に協力するため、協会職員を派遣した。

##### ③ オリエンテーションの実施

期間：2012年7月12日(木) (面接試験終了後)

場所：衛生部中国医科大学日本語培訓中心(遼寧省瀋陽市)

概要：来日に向けての準備や日本滞在期間中の事項についてレクチャーした。

#### (6) 外国医師・外国歯科医師臨床修練資格取得

第35期研究者で4名が外国医師・外国歯科医師臨床修練資格を取得した。

2012年11月21日

(医師) 趙 棟 東京医科歯科大学附属病院

(医師) 劉 翔宇 国立精神・神経医療研究センター病院

2013年1月2日

(医師) 王 邵華 国立がん研究センター中央病院

2013年1月30日

(医師) 趙 明 東京大学医学部附属病院

### 3. 次期制度

#### (1) 協議経過

##### 2012年

- ・ 2月13日 日本財団－中国衛生部協議、於北京(中国衛生部構想)。
- ・ 3月31日 日本財団－中国衛生部協議、於北京(2月13日中国衛生部構想に対する日本財団の回答)。
- ・ 5月10日 日本財団－同学会懇談、於瀋陽(次期制度等に関する情報交換)。
- ・ 5月17日 日本財団から日中医学協会宛に「次期制度についての衛生部からの返答」及び「同学会の今後の活動についての文書」の入手について督促(協議が進展しないことに対する苛立ち)。
- ・ 5月25日 第55回理事会(5号議案)において次期制度に関して理事長一任の決議
- ・ 6月11日 事務局長が中国衛生部訪問(就任挨拶を兼ねて若干の意見交換、日本財団への回答を促した。この時点における中国衛生部の回答案文は2月13日内容と大きな違いはないとのことであった)。
- ・ 6月20日 中国衛生部より日本財団への回答案入手(「新しい中日笹川医学交流プロジェクト」)。
- ・ 6月25日 日中医学協会－日本財団両理事長会談。
- ・ 6月26日 中国衛生部来日、日中医学協会と「新しいプロジェクト案」について協議。
- ・ 6月27日 日本財団－中国衛生部協議、於日本財団(中国衛生部「新しい中日笹川医学交流プロジェクト」について協議)。
- ・ 7月09日 日本財団との打合せ(今後の展開について)
- ・ 7月12日 第230回常任理事会(次期制度についての経過報告)
- ・ 7月18日 日本財団との打合せ(7月21日の中国衛生部との協議について)
- ・ 7月21日 日本財団－中国衛生部協議、於北京(6月27日の中国衛生部提案に対する日本

財団回答)。

- ・ 7月31日 日本財団との打合せ (今後の展開について)
- ・ 8月10日 日本財団-同学会懇談, 於呼和浩特
- ・ 8月11日 安達理事長-趙群同学会理事長会談, 於呼和浩特
- ・ 8月13日 中国衛生部訪問 (今後の展開について確認)
- ・ 8月22日 日本財団との打合せ
- ・ 8月28日 中国衛生部訪問, 於北京 (中国衛生部からの要請に基づく訪問/次期制度についての日本財団-中国衛生部の「覚書」案入手)
- ・ 8月29日 同学会趙群理事長との協議, 於瀋陽 (日本財団からの要請に基づく協議/次期制度の基本フレーム確認)
- ・ 8月30日 同学会李忠金秘書長との打合せ, 於北京 (8月29日の細部事項についての若干の意見交換とスケジュールの確認)
- ・ 9月03日 日本財団との打合せ (趙群理事長との協議内容伝達と9月6日日本財団-中国衛生部馮勇氏会談の対応について)
- ・ 9月06日 日本財団-中国衛生部馮勇処長会談 (中国衛生部-同学会のコミュニケーション促進要請。初年度/2013年度事業について日中医学協会-同学会が具体案を詰めるよう要請された)
- ・ 9月20日 「次期奨学金制度検討のためのWG」への経過報告 (WGを解散)
- ・ 10月23日 次期制度の2013年度事業 (案) について、日本財団へ概要説明
- ・ 10月30日 「次期制度 2013年度事業」を日本財団へ助成申請
- ・ 10月31日 申請受付の通知
- ・ 11月04日 同学会/李忠金秘書長、5日、中国衛生部/馮勇アジア・アフリカ処長と助成申請した「次期制度 2013年度事業」についての事業内容確認及び事業スケジュール等について協議 (於北京)
- ・ 11月20日 日本財団・尾形理事長との面談 (中国衛生部へのメッセージを託された……

中国衛生部の意思確認)

- ・ 12月15日 同学会理事会へ参加 (於北京、次期制度について共有化した)

## 2013年

- ・ 1月20日 衛生部陳竺部長と日本財団尾形理事長の会談に同行 (於中国衛生部、次期制度について大枠合意)
- ・ 1月29日 事務局長が日本財団との面談 (2013年度事業の助成意向が伝えられた)
- ・ 2月01日 日本財団尾形理事長と森岡会長、安達理事長との面談 (次期制度の助成決定内容について伝えられた)
- ・ 2月07日 中国衛生部国際合作司との協議 (於中国衛生部、協定書案文についての確認等)
- ・ 2月25日 日本財団と中国衛生部との協議 (於中国衛生部、協定書に係わる協議)

## (2) 次期制度の内容

事業名：日中笹川医学協力プロジェクト

事業構成：

### ①日中笹川医学奨学金制度

- ・ 第四次5年計画
- ・ 期間：年間30名を限度として、2014年4月から2019年3月まで

### ②笹川医学奨学金進修生同学会事業

- ・ 中国国内研修事業
  - イ) 短期総合診療研修
  - ロ) 短期診療技術・技能研修
  - ハ) 中長期臨床研修
- ・ ボランティア診療
- ・ 学術交流会
- ・ 期間：2013年4月から2018年3月まで



## ア-2 共同研究等助成事業

### 1. 2012 年度助成金受給者

#### (1) 調査共同研究助成

37 件の応募申請の中から、共同研究等助成事業委員会の選考により 16 件に助成した。

① 迫 康仁 旭川医科大学寄生虫学講座講師

研究テーマ：中国で蔓延している人獣共通寄生虫症(囊虫症)の迅速・簡便な検査法の開発

共同研究者：李 調英  
四川省疾病管理予防センター  
寄生虫病研究所教授

② 田中英明 熊本大学大学院生命科学研究部神経分化学分野教授

研究テーマ：毛髪形成維持に関わる神経軸索ガイダンス分子 **draxin** の機能解析

共同研究者：蘇玉紅  
河北医科大学人体解剖学教研室  
室副教授

③ 横山耕治 千葉大学真菌医学研究センター微生物資源分野准教授

研究テーマ：フサリウム原因菌と畑土壌のフサリウム属菌の生態に関する研究・調査

共同研究者：王 麗  
吉林大学白求恩医学院病原生物学教研室教授

④ 陳 昱 東京大学新領域創成科学研究科人間環境学専攻准教授

研究テーマ：耳音響放射検査による幼児中耳貯留液診断の生体力学基礎のシミュレーション解析

共同研究者：黄麗輝  
首都医科大学付属北京同仁医院北京市耳鼻咽喉科研究所教授

⑤ 小野直樹 芝浦工業大学工学部教授

研究テーマ：多孔質マイクロ流路による腫瘍血管内の血流力学挙動に関する研究

共同研究者：賀 纓  
中国科学技術大学近代力学系教授

⑥ 羽尾裕之 兵庫医科大学病院病理部准教授

研究テーマ：循環器疾患の病態に関する新規バイオマーカーの探索

共同研究者：愈 夢越  
阜外心血管病医院副主任医師

⑦ 王 立楠 三重大学大学院医学系研究科遺伝子免疫細胞治療学特任助教

研究テーマ：CEA 特異的キメラ抗原受容体導入T細胞を用いたがんに対する養子免疫療法の開発

共同研究者：丁 曉慧  
瀋陽医学院病理学教授

⑧ 袁 博 東京薬科大学薬学部薬品分析学助教

研究テーマ：フラボノイド併用による三酸化ヒ素の新規抗がん作用に関する基盤的研究

共同研究者：胡 曉梅  
中国中医科学院西苑医院血液科副主任

⑨ 西岡安彦 徳島大学大学院呼吸器・膠原病内科学教授

研究テーマ：Focal adhesion kinase を標的とした肺線維症に対する分子標的治療の開発

共同研究者：文 富強  
四川大学付属華西病院呼吸器内科教授・主任

⑩ 秦 亮 久留米大学医学部臨床感染医学部門助教

研究テーマ：中国上海市中病院における *Acinetobacter baumannii* の水平伝播及び薬剤耐性状況についての研究

共同研究者：胡 必傑  
復旦大学附属中山医院感染性  
疾病科教授

- ⑪ 國土 典宏 東京大学医学部附属病院教授  
研究テーマ：システムバイオロジーを駆使  
した肝細胞癌の病態制御機構  
の総括的解析

共同研究者：救 平  
上海交通大学システム生物医  
学研究院教授

- ⑫ 鈴木 康夫 中部大学生命健康科学部教授  
研究テーマ：鳥インフルエンザウイルスの  
ヒト適応変異におけるウイル  
スヘマグルチニンおよび受容  
体破壊酸素(ノイラミニダー  
ゼ)の役割に関する研究

共同研究者：郭 潮潭  
中国浙江省医学科学院生物工  
程研究所所長

- ⑬ 左 一八 静岡県立大学大学院薬学研究科  
生化学分野准教授

研究テーマ：受容体糖鎖構造に基づくウイ  
ルス機能阻害剤探索

共同研究者：郭 潮潭  
中国浙江省医学科学院生物工  
程研究所所長

- ⑭ 井上 孝 東京歯科大学大学院研究科教授  
研究テーマ：歯牙形成におけるシグナルカ  
スケードの解析と、生体外に  
よる歯牙硬組織、歯牙再生に  
関する研究

共同研究者：白 玉 w  
第四軍医大学口腔医学院小兒  
口腔科講師

- ⑮ 八若 保孝 北海道大学大学院歯学研究科口  
腔機能学講座教授

研究テーマ：機能性ナノ材料および生体化  
学物質を応用した新しい修復  
材料の応用と評価

共同研究者：趙 璋

中山大学附属口腔病院小児歯科学教授

- ⑯ 片田 範子 兵庫県立大学看護学部学部長  
研究テーマ：肥満児童の体質と血圧との関  
連に関する日中比較研究

共同研究者：龐 書勤  
福建中医薬大学護理学院人文  
研究室長

## (2) トラベルグラント

4 件の応募申請の中から、共同研究等助成事  
業委員会の選考により 2 件に助成した。

- ① 山内広平 岩手医科大学医学部内科学講座  
呼吸器アレルギー膠原病内科分野  
教授

学会名：第 62 回日本アレルギー学会秋季学  
術大会

- ② 若狭研一 大阪市立大学大学院医学研究科診  
断病理学教授

学会名：大阪上海メルボルン病理組織研究会  
(②は、日中関係の状況により中国参加者が  
来日できなかったため、助成返還した)

## 2. 共同研究等助成事業委員会の開催

日 時：2013 年 3 月 7 日 (木) 16:00~16:45

場 所：J Aビルカンファレンス 302 号室

出席者：委員長他委員 6 名、委任状出席 2 名

議 題：

報告事項

1. 2012 年度助成事業に関する報告事項
  2. 2013 年度助成事業の変更点に関する報告事項
- 審議事項

1. 2013 年度共同研究等助成事業選考

概 要：

・調査・共同研究

20 件の応募者の中から応募数の割合で領域別の  
受給者数を割り当てた結果、基礎領域から 4 名、  
薬学領域から 2 名の受給者を選考することとし、  
それぞれの領域で補欠を 1 名選考した。

・若手在留中国人研究者助成

17 名の応募者から 2 名を選考し、1 名を補欠と

した。

## 2013 年度助成金受給者

### (1) 調査・共同研究助成 6 件

#### 医学基礎系

- ①雪 小峰 昭和大学医学部生化学助教  
研究テーマ 肝線維化における TGF-β 誘導性因子 Hic-5 の機能解析  
共同研究者 李 波  
瀘洲医学院附属病院肝胆外科教授
- ②武部 豊 国立感染症研究所エイズ研究センター研究員  
研究テーマ 中国におけるエイズ流行の最新動向の調査研究と分子疫学に関する国際共同研究  
共同研究者 邵 一鳴  
中国疾病予防控制中心エイズ研究センター教授
- ③潘 雷 東海大学医学部研究員  
研究テーマ 東アジア地域における ALS 関連遺伝子変異の大規模スクリーニング研究  
共同研究者 陳 万金  
福建医学大学附属第一病院神経内科副主任医師・准教授
- ④馬 寧 鈴鹿医療科学大学・保健衛生学部教授  
研究テーマ ヒ素曝露人群における健康リスクの予測・早期診断法の探索  
共同研究者 裴 秋玲  
山西医学大学公共衛生学院教授

#### 薬学系

- ①村岡 修 近畿大学薬学部学部長・教授  
研究テーマ 砂漠人参カンニクジュヨウの糖尿病予防および初期症状の改善効果と作用メカニズムに関する研究  
共同研究者 賈 曉光  
新疆ウイグル自治区中薬民族薬研究所所長
- ②安井 正人 慶應義塾大学医学部薬理学教室教授

研究テーマ リポ多糖刺激によるミクログリア活性化におけるアクアポリン4の役割

共同研究者 韓 晶岩  
北京大学医学部基礎医学院教授

### (2) 若手在留中国人研究者助成 2 件

#### 医学基礎系

- ①李 麗 東北大学病院放射線診断科博士研究員  
研究テーマ 頭蓋内胚細胞性腫瘍長期生存例の T2\* 強調像 MRI 所見：全脳室照射 VS 全脳照射  
指導責任者 高橋昭善  
東北大学病院放射線診断科教授
- ②楊 伶俐 大阪大学大学院医学系研究科皮膚科大学院生  
研究テーマ 結節性硬化症における白斑の病態解明から、結節性硬化症の治療薬開発へ  
指導責任者 片山 一郎  
大阪大学大学院医学系研究科皮膚科教授

### 3. 共同研究等助成事業報告会

日時：2013 年 3 月 7 日(木) 17:00~18:00

場所：JA ビルカンファレンス 302 号室

報告者：

- ・太田 伸生(東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科教授)  
「寄生虫学領域における日中共同事業の歴史と成果について」
  - ・真柳 誠(茨城大学人文学部教授)  
「医史学における日中交流の歴史と成果」
- 参加者：日中医学協会役員、助成事業受給経験者、

## ア-3 若手在留中国人研究者助成事業

### 1. 2012 年度助成金受給者

21 件の応募申請の中から、共同研究等助成事業委員会の選考により、遅源氏(山梨大学医学工学総合研究部大学院生)、李雯雯氏(東京大学医学系研究科大学院生)の 2 名に助成した(本助成は 2012 年 3 月 1 日に開催された委員会において 2012 年度助成として決定されたが、同月に助成金を支払ったため、2011 年度事業報告にも記載し、重複している)。

(1) 助成金額 40 万円/1 件

#### (2) 受給者

##### ①細胞間コミュニケーションをターゲットとした

アレルギー性気道炎症の新規治療法の開発

受給者：遅 源 山梨大学

医学工学総合研究部大学院生

指導者：姚 建 准教授

##### ②C型肝炎ウイルス陽性患者の肝発がん抑止・

治療を目的とした MICA 発現機構の解明と薬剤スクリーニング

受給者：李 雯雯 東京大学大学院医学系研究科

疾患制御ゲノム医学 UNI 大学院生

指導者：加藤直也 特任准教授

## ア-4 中国人医師・研究者招聘事業

### 1. 松和会中国人医師招聘

李鋒 山東省棗莊市立委員腎臓内科主治医師  
(研究先：帝京大学医学部内科学内田俊也教授)  
を招聘した(2011 年度からの継続、2012 年度終了)。

研修期間 2012 年 3 月～2013 年 3 月

### 2. その他中国人研究者招聘

#### (1) 中日友好病院医師招聘

研究先 富山大学和漢医薬学総合研究所

・研修者 杜金行(中西医結合科心内科主任医師)

指導教官 柴原直利 教授(漢方診断学分野)

研修期間 2012 年 7 月 12 日(木)～9 月 28 日(金)

費用 中国側負担

#### (2) 河南科技大学第一附属病院医師招聘

研修先 静岡県立静岡がんセンター

・研修者 王公平(腫瘍外科副・副主任医師)

指導教官 寺島雅典 部長(胃外科)

・研修者 高社干(腫瘍科・主任医師)

指導教官 安井博史 部長(消化器内科)

研修期間 2012 年 8 月 20 日(月)～11 月 17 日(土)

費用 中国側負担

#### (3) 河南科技大学第一附属病院医師招聘

研修先 静岡県立静岡がんセンター

・研修者 姚 俊(腫瘍内科・副主任医師)

指導教官 新槇 剛 部長(IVR 診断科)

・研修者 樊冬梅(産婦人科・副主任医師)

指導教官 平嶋泰之 部長(婦人科)

・研修者 孫 江涛(腫瘍外科・副主任医師)

指導教官 大出泰久 部長(呼吸器外科)

研修期間 2013 年 3 月 4 日(月)～5 月 31 日(金)

費用 中国側負担

## イ 学術会議開催事業

### イ-1 主催事業

#### 1. 日中医学交流会議

日中国交正常化 40 周年記念、2012「日中国民交流友好年」認定行事として開催した。

テーマ：陳嘯宏中国衛生部副部長講演会

日 時：2012 年 9 月 4 日(火) 10:00～13:30

会 場：ホテルニューオータニ東京（鳳凰西）

主 催：日中医学協会、日本医師会

後 援：中華人民共和国衛生部、中華人民共和国駐日本国大使館、厚生労働省

協 力：日本製薬団体連合会

参加者：講演会 210 名

司 会：林 謙治（日中医学協会理事）

座 長：座長：酒谷 薫（日中医学協会常任理事）

プログラム

挨拶 森岡恭彦 日中医学協会会長

横倉義武 日本医師会会長

韓 志強 駐日中国大使館公使

講演 陳 嘯宏 中国衛生部副部長

「中国医薬衛生改革の現状および展望」

懇親会(会場：シリウス)

訪日団名簿

- ① 陳 嘯宏 中国衛生部副部長
- ② 李 斌 中国衛生部企画財務司司長
- ③ 王 立基 中国衛生部国際合作司副司長
- ④ 張 朝陽 中国衛生部プロジェクト資金監管服務センター主任
- ⑤ 顧 金輝 中国衛生部陳副部長秘書
- ⑥ 戴 維 中国衛生部国際交流合作センター  
通訳

### イ-2 共催・後援事業

#### 1. 2012 年度医学生のための漢方医学セミナー

開催日：2012 年 7 月 31 日(火)～8 月 5 日(日)

開催地：ホテル溪山閣(京都府(火)真岡市)

主 催：小太郎漢方製薬株式会社

後 援：日中医学協会、日本 TCM 研究所、天津

中医学院

参加者：医学部学生 26 名(17 大学)、聴講医師 6 名

## ウ 医療協力事業

### ウ-1 専門家派遣事業

2012 年度は、1 件を派遣した。

(1) 中日友好病院への専門家派遣

・中島 淳 東京大学大学院医学系研究科呼吸器外科学教授

期 間：2012 年 11 月 14 日(水)～16 日(金)

テーマ：日本における肺がん治療最前線

### ウ-2 医療関連訪日団招請事業

2012 年度は、3 件の訪日団の招聘や病院視察等の手配を行った。

(1) 「陽子線治療研究部視察訪日団」

日 時：2012 年 8 月 1 日(水)9:00～11:00

訪問先：静岡県立静岡がんセンター

依頼元：北京泰徳製薬股份公司

訪問者：陳 建平(上海申康医院發展センター主任)他 2 名

(2) 「日本慢性病管理及び老年在宅医療訪日団」

日 時：2012 年 8 月 10 日(金)

訪問先：東京大学医学部附属病院

依頼元：亜太医院管理研究中心

訪問者：王衛慶(上海交通大学附属瑞金医院内分泌科主任医師)他 6 名

(3) 「病院管理現代化システム訪日団」

日 時：2012 年 8 月 23 日(月)

訪問先：北海道大学附属病院

依頼元：北京泰徳製薬股份公司

訪問者：李偉明(上海市第六人民医院教授)他 13 名

### ウ-3 訪中団派遣事業

#### (1) 第4回中国医療事情視察団

概要：中国の医療事情への理解を深めるとともに、同学会学術交流会へ出席した。

期間：2012年8月8日(水)～12日(日)

参加者：安達勇理事長ら全31名

参観先：呼和浩特市；内蒙古医学院附属医院、内蒙古国際蒙医医院

### ウ-4 乳幼児栄養交流事業

日中両国関係の状況により実施を延期した。

### ウ-5 日中国際共同研究プロジェクト

日本側の主たる研究者の事情により、本事業は2011年度で中止とした。

### ウ-6 経済産業省の医療の国際化に係わる調査事業

受託内容（契約先：(株)野村総合研究所）

#### ①中国での医療機関・医療産業の展開に関する法制度調査

A 関連基本法規、制度の洗い出し・翻訳

B 調査員によるヒアリング

C 中国での医療機関・医療産業の展開に関する法制度に関する解説資料の作成

#### ②中国衛生部・地域医療機関とのネットワーク構築

D 日中医療交流協議会設立準備委員会の運営

E 人材交流を目的とした会議開催

F 日本の医療機関・医療機器メーカーの中国展開支援

#### ③医療機器メーカーの中国展開における課題調査の実施・とりまとめ

G アンケート調査

H 中国現地法人へのヒアリング調査

I 報告書作成

受託期間：2012年6月5日～2013年2月末日

受託金額：32,373,495円(消費税込)

### (1) 中国での法制度調査

調査員によるヒアリング

①期間：2012年9月4日(火)～7日(金)

第3回医療器械監督管理国際論壇（北京）に調査員を派遣し、会議報告作成を委託

②期間：2012年10月24日～28日

調査員：金粉花

項目：北京にて中華医学会の国際担当者及び継続教育担当者に対するヒアリング

### (2) 中国衛生部・地域医療機関とのネットワーク構築

#### ①日中医療交流協議会設立準備委員会

委員：

相澤 孝夫 社会医療財団法人慈泉会相澤病院 院長

麻田ヒデミ 社会医療法人財団エム・アイ・ユー 麻田総合病院理事長

安達 勇 静岡県立静岡がんセンター参与

飯塚 陽子 東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科助教

石川 雄一 公益財団法人がん研究会 研究所 病理部長

江藤 一洋 日本歯科医学会会長

長村 義之 国際医療福祉大学病理診断センター センター長

尾身 茂 独立行政法人年金・健康保険福祉 施設整理機構理事長

熊崎 博司 社会医療財団法人慈泉会相澤病院 慈泉会本部経営戦略部国際交流室長

小松 研一 東芝メディカルシステムズ株式会社 相談役

近藤 達也 独立行政法人医薬品医療機器総合 機構理事長

酒谷 薫 日本大学医学部脳神経外科学教授 株式会社ジーシー薬事室室長

平岡 眞寛 京都大学大学院医学研究科放射線 腫瘍学画像応用治療学教授

森口 浩徳 とくしま産業振興機構産学連携推 進部副部長

森山 紀之 国立がん研究センター  
がん予防・検診研究センター長  
和田 勝 国際医療福祉大学大学院福祉社会  
総合研究所教授

#### 第1回設立準備委員会

日時：2012年9月11日(火) 17:00～19:00  
場所：JA ビルカンファレンス 303号室  
議題：①日中医療交流協議会設立準備委員会  
趣旨説明  
②2011年度受託者事業報告  
③2012年度受託者事業計画

座長：江藤一洋委員

概要：昨年度事業の概要報告とともに今年度事業の概要報告を行い、委員間での情報の共有化を図った。又、共通項目を持つ事業も複数あるため、質疑応答等で各種問題点につき討議し、連携協力し合うことで意志の統一を図った。

#### 第2回設立準備委員会

日時：2013年1月24日(木) 17:00～18:30  
場所：JA ビルカンファレンス 301号室  
議題：①日中医療交流協議会設立準備委員会の活動報告  
②各事業者からの中間報告  
③今後の日中医療交流協議会の活動について

座長：江藤一洋委員

概要：今年度の事業団体による中間報告および今後の日中医療交流協議会の在り方を協議した。日中医学協会は記念行事開催、歯科研修事業を中心に今年度の事業を報告した。参加事業団体からは尖閣問題で事業の進行の遅滞、中断の報告がなされたが、このような困難を乗り越えるためにも、「ALL JAPAN」として戦略的に中国で展開していくことが必要であるという意見が出され、来年度も引き続き協議会が活動をして

いくという結論となった。

#### ②日中医療交流協議会設立準備委員会小委員会

日時：2012年11月8日(木)16:00～17:30

場所：学士会館 309号室

議題：①日中医療交流協議会記念行事について  
②今後の日中医療交流協議会について

概要：記念行事に関しては、経済産業省、厚生労働省、外務省等関係各省と連携して実施することとなった。日中関係が困難な時期の記念行事開催は意義が大きい。日中医療交流協議会の設立については、一般社団法人 MEJ のスタートに伴い、アウトバウンドを「ALL JPAN」で、官民産学で議論して進める際の中国関連事業のプラットフォームとしたい。MEJ の中国関連事業については、日中医療交流協議会と連携・支援の関係を保って、日中医学協会に業務委託することを考えている。

#### ③日中医療交流協議会記念行事開催

名称：日中医療交流協議会記念行事—

日中医学交流の新潮流Ⅱ

開催日：2012年12月19日(水)

場所：北京ヒルトンホテル(北京市朝陽区東三環北路東方路1号)

講演者：

基調講演 尾身 茂

(名誉世界保健機関(WHO)西太平洋地域事務局事務局長、年金・健康保険福祉施設整理機構理事長)

「日本と中国の医の未来—更なる友好強化のために」

シンポジウム

荒井保明(国立がん研究センター中央病院院長)

楊 仁潔(北京大学臨床腫瘍医院インターベンション科科長)

テーマ：腫瘍領域におけるインターベンショナル・ラジオロジー

参加者：128名（中国人医師、在中国日本医療関係企業、日中医療交流協議会設立準備委員会委員等）

概要：インターベンションの専門家及びその周辺領域の中国人医師を中心に、日中笹川医学奨学金制度研究者OBも多数参加し、日本の高度な医療技術の広報という意味では非常に成果があった。又、来賓として在中国日本大使館尾池厚之公使、衛生部国際合作司 王立基副司長、中華医学会対外連絡部担当者にも臨席賜り、日本が「医療の国際化」という目的に向けて一丸となっていることを中国側にもアピールできた。

#### ④日中歯科技術研修事業支援

テーマ：マイクロスコープによる歯内療法  
場 所：首都医科大学附属天壇医院  
期 間：2012年12月13日(木)～16日(日)  
概 要：受講者29名、受講料3,500元/人  
現在、中国では継続教育の名目で7000～8000の研修が行われている。その中で日本の歯科技術を広め、製品の優良品を示すためには研修運営面での工夫が必要である。

#### (3) 医療機器メーカーの中国展開における課題調査の実施・取りまとめ

##### ①アンケート調査

2012年8月9日(木) 日本画像システム工業会及び日本医療機器産業連合会の会員180社にアンケートを送付(9月10日(月) 提出期限 とりまとめ)

##### ②中国現地法人へのヒアリング調査

7月12日(木) シスメックス  
7月24日(火)～28日(土) 訪中ヒアリング  
(森茂診療所、オリンパスメディカルシステムズ、日本光電、ジーシー、フクダ電子)  
8月01日(水) テルモ  
8月07日(火) VIEW SEND  
8月16日(木) 経済産業省へ報告

#### (4) 事業報告書

「平成24年度 日本の医療機器・サービスの海外展開に関する調査事業（海外展開の事業性評価に向けた調査事業）中国関連調査等プロジェクト報告書」（平成25年2月）を事業契約先である(株)野村総合研究所へ提出した。

#### ウ-7 笹川医学奨学金進修生同学会事業及び在日研究者連絡会

##### (1) 学術交流会

開催日：2012年8月11日(土) 08:30～17:00

場 所：内蒙古水木年華(陽光)大酒店（内モンゴル自治区フフホト市）

テーマ：内科・基礎医学

参加者：114名 中国側83名(会員77名、来賓4名、事務局2名)、日本側31名

特別講演：

張 学 中国医学科学院基礎医学研究所教授  
(11期生)

『Molecular Genetics of Hair Follicle Disorders』  
田平 武 順天堂大学大学院医学研究科認知症診断・予防・治療学客員教授

『アジア人の多発性硬化症 Asian Multiple Sclerosis (Asian MS)』

報 告：

邱 科 『基礎医院』編集者

雑誌『基礎医院』と同学会の連携活動について  
帰国研究者研究発表・出席者交流：

韓 晶岩 北京大学医学部中西医結合学系教授  
(9期生)

『Cerebralcare Granule® attenuates blood-brain barrier disruption after middle cerebral artery occlusion in rats』

汲 娟娟 中国科学院生物物理研究所脳系認知センター研究員(5期生)

『The Hidden BK Channels in Basal Ganglia Neurons』



康熙雄 北京天壇醫院實驗診斷センター主任醫師  
(20 期生)

『Genetic Test as Predictive Biomarkers of Drug Response』

孟 召偉 天津医科大学総醫院核医学科副主任醫師  
(30 期生)

『Nuclear factor-kappa B inhibition can enhance apoptosis of differentiated thyroid cancer cells induced by <sup>131</sup>I』

賽力克・対山栞 新疆医科大学第一附属医院神経外科副主任醫師 (28 期生)

『Clinical Experience in Treating Cerebral Avascular Echinococcosis』

林 穎 中国人民解放軍第四軍医大学第一附属医院耳鼻咽喉科主治醫師 (32 期生)

『Semicircular canal dehiscence – rare case of pediatric vertigo』

同学会活動紹介：趙 群 同学会理事長

## (2) ボランティア診療

実施日：2012 年 9 月 8 日(土)～9 日(日)

場 所：寧夏回族自治区中衛市興仁鎮興仁中心衛生院  
(黄宗璽院長)

概 要：

孫 偉 (江蘇省中医院腎臟内科教授, 18 期生) 魏述軍 (寧夏回族自治区人民医院心臟内科主任醫師, 21 期生) 徐力平 (寧夏回族自治区人民医院小兒科主任醫師, 24 期生) 常 玲 (北京和睦家婦嬰医療保健中心産婦人科主任醫師, 18 期生) 楊林海 (山西兒童醫院小兒心内科, 25 期生) が参加した。また、藹健明副市長・張宏年副市長主催の夕食会があった。

講習会：

孫 偉「糖尿病と腎臟病に関する最新の診療動向」  
楊林海「小兒科疾病に関する最新の診療動向」

受診者：212 名

孫 偉/65 名、魏述軍/40 名、徐力平/22 名、常玲/37 名、楊林海/48 名)

診療疾患：

喘息、心臟病、婦人病、小兒の肥満・栄養不良、妊婦、脳神経、甲状腺病機能障害、齒科、腎・消化器・前立腺などの疾患、整骨、腰痛、リュウマチ、妊娠出産相談など。

寄 贈：

医薬品 (6,000 元)、心電図計測器と酸素吸引器 (1.2 万元)

## (3) 辺境地域等在住医師の育成

笹川生 OB の所属病院に於いて笹川生 OB の指導の下、貧困地域や被災地にある下級病院の医師や看護師を育成

①湖南旺旺医院 2 名

期 間：8 月下旬～6 か月間

担当者：李英国 (1 期生) 同院長

②黒竜江省中西医結合研究所 2 名

期 間：9 月下旬～6 か月間

担当者：李顯筑 (8 期生) 同研究所所長

③首都医科大学附属北京天壇医院 2 名

期 間：10 月中旬～6 か月間

担当者：康熙雄 (20 期生) 同院教授

## (4) 同学会 2011 年度事業監査

実施日：2012 年 7 月 14 日(土)

場 所：同学会北京事務所

監査者：協会職員；小野須磨子、末原珠生

概 要：当該年度は例年通りのやり方で行ったが、日本財団から監査時期、内容、送金等についての指摘があり、実態をヒアリングし、会計のあり方について説明した。

## (5) 在日研究者連絡会 (笹連会)

①役員会の開催

日時：2012 年 11 月 14 日(水) 19:00～21:00

場所：セントラルホテル東京

議題：笹連会 2012 年度活動について

日時：2012 年 11 月 28 日(水) 19:00～21:30

場所：ELSA 新宿本店

議題：忘年会と笹連会関西支部セミナーの開催について

## ②第34期・第35期研究者との交流

- ・第34期研究者研究報告会・研究修了式に出席  
開催日：2012年8月22日(水)
- ・第35期研究者歓迎式典・歓迎レセプション出席  
開催日：2011年9月5日(水)
- ・第35期研究者との座談会  
日時：2013年3月2日(土) 19:30～21:30  
場所：ホテル箱根アカデミー  
出席者：笹連会、第35期研究者  
(第25回箱根セミナー開催期間に実施した)

## ③その他

第34期研究者、第35期研究者の指導相談を兼ねて、笹連会東京本部主催『鎌倉アジサイ鑑賞会(6月17日)、笹連会関西支部主催『親睦party』(6月23日)、紅葉狩り・忘年会(12月8日)等のイベントを実施した。

## エ 広報事業

### 1. 機関誌「日中医学」の発行

機関誌「日中医学」第27巻1～4号を以下の通り発行した。

- 第1号(2012年7月)  
特集「日中障害者歯科医療の現状」
- 第2号(2012年9月)  
特集「日中における精神疾患の現状と対策」
- 第3号(2012年11月)  
特集「日中医学交流の現状と課題」
- 第4号(2013年2月)  
特集「院内感染—多剤耐性菌等」

### 2. 「NEWS LETTER」の発行

No.27～No.29を以下の通り発行した。

- No.27(2012年4月発行)  
記事「中華医学会2012年学術年会に参加して」  
他
- No.28(2012年8月発行)  
記事「陳嘯宏衛生部副部長を迎えて—中国の医薬衛生改革の現状と展望—」他
- No.29(2012年12月発行)  
記事「MEJと日中医学協会」他

### 3. ホームページの拡充

協会事業に関するお知らせ掲載等の広報を充実し、公益財団法人事業項目及び公告(情報開示)に沿った内容に改訂した。

<http://www.jpccnma.or.jp>

### 4. 「International Chinese Journal of Dentistry」への協力

Sponsoring Organizationとして協力した。

### 5. 委員会の開催

#### 第1回広報委員会

日時：2012年6月13日(火) 18:00～19:00

場所：協会事務所

出席者：委員長他委員5名、委任状出席4名

議 題：

- ① 副委員長について（緒方剛委員を選定）
- ② 『日中医学』表紙・記事デザインについて
- ③ 『日中医学』Vol. 27 の掲載記事について
- ④ 『日中医学』Vol. 27 の広告掲載について
- ⑤ 『日中医学』Vol. 27 の中国向け電子配信について
- ⑥ 『日中医学』の原稿料について
- ⑦ NEWS LETTER』No.28 の発行について

## 第 2 回広報委員会

日 時：2012 年 10 月 31 日(水) 18:00～20:00

場 所：協会事務所

出席者：委員長他委員 7 名、委任状出席 3 名

議 題：

- ① 『日中医学』の中国向け電子配信について
- ② 『日中医学』VOL. 28 の掲載記事について
- ③ 『日中医学』VOL. 28 の広告掲載について
- ④ 『NEWS LETTER』NO. 29 の発行について

## 第 3 回広報委員会

日 時：2013 年 2 月 20 日(水) 18:00～20:00

場 所：学会館 307 号室

出席者：委員長他委員 7 名、委任状出席 4 名

議 題：

- ① 『日中医学』VOL. 28 の掲載記事について
- ② 『日中医学』VOL. 28 の広告掲載について
- ③ 『NEWS LETTER』NO. 30 の発行について
- ④ ホームページ・概要のリニューアルについて
- ⑤ 常任理事会(2 月 28 日開催)への答申事項について

## 総務報告

### I. 公益財団法人移行認定申請について

#### 申請経過

#### 2012 年

- ・ 5 月 18 日 第 229 回常任理事会で定款案協議
- ・ 5 月 25 日 公益財団法人移行後の最初の評議員選定委員会
- ・ 5 月 25 日 第 55 回理事会・評議員会
- ・ 6 月 18 日 内閣府公益等認定委員会事務局窓口相談
- ・ 7 月 04 日 第 4 回公益法人改革について検討する準備委員会
- ・ 7 月 12 日 第 230 回常任理事会
- ・ 8 月 02 日 臨時理事会・評議員会（申請案承認）
- ・ 8 月 27 日 内閣府公益認定等委員会における窓口相談
- ・ 9 月 20 日 窓口相談（8/27）に基づく申請書修正案の理事長承認（臨時理事会・評議員会における理事長一任決議に基づく申請書修正案）
- ・ 9 月 25 日 公益法人移行認定申請
- ・ 10 月 05 日 内閣府（大臣官房公益法人行政担当室）審査担当官より「事前調査の一覧（申請書の要修正事項）」について来信
- ・ 10 月 18 日 事前調査の一覧（申請書の要修正事項）について審査担当官からのヒアリング及び指導
- ・ 10 月 18 日 内閣府大臣官房公益法人行政担当室より、上記指導に基づく「修正可能書類通知書」来信
- ・ 11 月 01 日 上記の審査担当官からの指導及び「修正可能書類通知書」に基づき、「修正提出書」提出及び修正申請
- ・ 11 月 07 日 内閣府大臣官房公益法人行政担当室より、11 月 1 日に修正申請した内容について、一部を再修正する「修正可能書類通知書」来信
- ・ 11 月 08 日 上記の 11 月 7 日付「修正可能書類通知書」に基づき、「修正提出書」提出及び修正申請

- 11月09日 内閣府大臣官房公益法人行政担当室より、「前年度末日の貸借対照表及びその附属明細書についての書類差替え要請」来信。また、「移行登記の希望日」について書面提出するよう通知があった。
- 11月12日 上記の11月9日付「修正可能書類通知書」に基づき、「修正提出書」提出及び修正申請（書類差替え）。また「移行登記の希望日」を平成25年4月1日として書面提出した
- 11月19日 審査担当官から、内閣府公益認定等委員会事務局内の資料確認は終了した旨の電話連絡を受けた
- 11月26日 審査担当官から、公益認定等委員会への諮問日が、11月29日（木）に正式に決まったこと及び同委員会での結果を、当日（29日）質疑終了後に知らせる旨の連絡を受けた
- 11月29日 審査担当官から、公益認定等委員会において、特に質問もなく、審査終了した旨の電話連絡を受けた
- 12月07日 公益等認定委員会より内閣総理大臣に対し公益財団法人認定の答申書が出された

## 2013年

- 3月19日 内閣総理大臣より移行認定書公布
- 4月01日 特例民法法人の解散登記、公益財団法人の設立登記

## II. 役員等の選任及び選定について

### A. 理事・評議員の選任

寄附行為第17条、第19条、34条に基づく選任

#### 1. 第55回評議員会に於いて理事2名を選任

横倉 義武 社団法人日本医師会会長

羽生田 俊 社団法人日本医師会副会長

（任期は2014年3月31日まで）

#### 2. 第55回理事会に於いて評議員2名を選任

石井 正三 社団法人日本医師会常任理事

鈴木 邦彦 社団法人日本医師会常任理

（任期は2014年3月31日まで）

### B. 副会長・常任理事の選定

寄附行為第17条に基づく選任

#### 1. 第55回理事会に於いて副会長及び常任理事を選定

副会長 横倉 義武 社団法人日本医師会  
会長

常任理事 羽生田 俊 社団法人日本医師会  
副会長

### C. 2012年度理事・監事・評議員

別表1「役員名簿」、別表2「評議員名簿」

退任役員（カッコ内は公益財団法人移行後）

公益財団法人移行に伴い、2013年3月31日を以って退任された。

今井一洋、牛尾恭輔、大久保満男（副会長）  
大槻勝紀、加我君孝、児玉 孝（副会長）  
坂本すが（副会長）、庄田 隆（評議員）  
高松公朋、花岡一雄、丸野政雄、横倉義武（副会長）

※氏名記載のない理事・監事は公益財団法人移行後の最初の役員に選任された。

退任評議員（カッコ内は公益財団法人移行後）

公益財団法人移行に伴い、2013年3月31日を以って退任された。

朝倉 均、阿部 裕、荒木孝二、石河 修  
市川和孝、猪熊茂子、今泉英明、井廻道夫  
大田洋二郎、小川 彰、小川 忍、尾崎由基男  
影井 昇、笠原正貴、加藤久豊、加藤抱一  
金原秀雄、河野信博、韓 晶岩、北 潔  
北中 進、北村唯一、木村光孝、栗原英見  
黒崎紀正、五島嵯智子、古谷野 潔、斉藤大三  
酒井シヅ、桜井芳明、佐々木一之、佐藤田鶴子  
佐藤信紘、澤 宏紀、清水正嗣、下村克朗  
正山征洋、鈴木邦彦、住友雅人、住吉金次郎  
諏訪文彦、田上順次、田口鐵男、武田隆男

田中雅夫、谷 美智士、津田喬子（顧問）  
 土山秀夫、常光謙輔、杜 子威、名川弘一  
 鍋谷欣市、伯井俊明、花輪壽彦、早石 修  
 日暮 眞、福生吉裕、古川俊之、方 一如  
 前田隆秀、前田健康、町田幸雄、松井比呂美  
 松村英雄、丸山 茂、御子柴克彦、水野 昇  
 箕田健生、宮田 侑、村上恵一、室賀昭三  
 望月清志、山中宣昭、山本昌弘、家森幸男  
 姚 健、吉倉 廣、李 天成、渡邊裕司  
 ※氏名記載のない評議員は公益財団法人移行後  
 の最初の評議員に選任された。

### Ⅲ. 会員拡大と募金活動について

#### 会員数の推移

	12年3月 末現在	2012年度 入退会	13年3月 末現在
個人会員	503名	入会32名 退会38名	497名
法人会員	70社	入会 5社 退会 4社	71社
特別会員	3社	入会 0社 退会 0社	3社

#### 募金活動

##### 年寄付金・その他の寄付金

法人・個人にご協力戴いた寄付金は、当協会が実施した助成事業、日中医学交流会議、広報事業等に充当した。

- a. 団体・法人 2法人 計 1,070,000 円  
 (株)ツムラ、(株)メディカル東友、
- b. 個人 45名 計 575,000 円

### Ⅳ. 協会運営に係る事項

#### A. 理事会・評議員会の開催

##### 1. 第 55 回評議員会

日 時：2012年5月25日(金) 14:00～16:00  
 場 所：東京ガーデンパレス 白鳳  
 出席者：79名(委任状出席61名)/総数91名  
 欠席者：12名  
 議 題：理事選任の件  
 公益法人改革関連の件

##### 2. 第 55 回理事会

日 時：2011年5月27日(金) 14:00～16:00  
 場 所：東京ガーデンパレス 白鳳  
 出席者：30名(委任状出席17名)/総数30名  
 議 題：2011年度事業報告(案)の件  
 2011年度決算報告(案)の件  
 評議員選出の件  
 役員選任の件  
 日本財団助成金申請の件  
 特定公益増進法人申請の件  
 公益法人改革関連の件

##### 3. 臨時評議員会

日 時：2012年8月2日(水) 16:00～18:00  
 場 所：学士会館 203号室  
 出席者：79名(委任状出席59名)/総数93名  
 欠席者：14名  
 議 題：公益財団法人移行認定申請の件

##### 4. 臨時理事会

日 時：2012年8月2日(水) 16:00～18:00  
 場 所：学士会館 203号室  
 出席者：31名(委任状出席17名)/総数32名  
 欠席者：01名  
 議 題：公益財団法人移行認定申請の件

## B. 常任理事会の開催

### 1. 第 229 回常任理事会

日 時：2012 年 5 月 18 日(金) 18:00～19:00  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：理事長他 5 名  
議 題：2011 年度事業報告書(案)について  
2011 年度決算報告書(案)と公益・事業  
・周年行事への資金配分について  
他

### 2. 第 230 回常任理事会

日 時：2012 年 7 月 12 日(木) 17:00～19:00  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：理事長他 6 名  
議 題：公益法人申請について

### 3. 第 231 回常任理事会

日 時：2012 年 9 月 27 日(木) 17:00～19:00  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：理事長他 3 名  
議 題：公益法人移行を前提とした今後の業務執行体制について  
共同研究等助成事業について  
公益法人移行後の理事・評議員補充選  
任について

### 4. 第 232 回常任理事会

日 時：2012 年 12 月 6 日(木) 17:00～19:00  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：理事長他 12 名  
議 題：公益法人移行後の法人運営と各種手続き  
について  
公益法人移行後の理事・評議員補充選  
任について

### 5. 第 233 回常任理事会

日 時：2013 年 2 月 28 日(木) 17:00～19:00  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：理事長他 8 名  
議 題：公益第 1 回理事会招集手続きについて、  
2013 年度事業計画、収支予算について  
他

## C. 事業計画・財務委員会の開催

### 1. 第 6 回事業計画・財務委員会

日 時：2013 年 2 月 22 日(金) 17:00～18:30  
場 所：日中医学協会事務所  
出席者：酒谷委員長他 6 名  
議 題：2013 年度事業計画案について  
2013 年度収支予算案について

## D. 日本財団の補助金について

2013 年 2 月 28 日付で 2013 年度助成金申請に対する助成金交付決定及び審査結果の通知があった。

- ①日中笹川医学協力プロジェクトに対する助成  
助成金額 55,360,000 円
- ③基盤整備事業  
助成金額 32,800,000 円

日中笹川医学奨学金制度第35期研究者名簿(2012年9月~2013年8月)

氏名	所属機関	受け入れ機関	指導責任者
研究テーマ			
金海燕	浙江大学医学院附属兒童医院麻醉科主治医師	北海道大学大学院医学研究科救急医学	丸藤 哲 教授
劉 涛	中国医科大学附属第一医院泌尿外科副主任医師	弘前大学大学院医学研究科分子生体防御学	伊東 健 教授
霍 翔	江蘇省疾病予防控制中心急性伝染病防制所主管医師	東北大学大学院医学系研究科微生物学	押谷 仁 教授
丁 大勇	吉林大学中日聯誼医院胃腸外科主治医師	東北大学大学院医学系研究科分子病態外科学分野	福島浩平 教授
張 曦	中国人民解放軍第四軍医学第一附属医院整形外科主治医師	千葉大学大学院医学研究院整形外科学	佐藤兼重 教授
趙 明	中国人民解放軍総院第一附属医院神経外科主治医師	東京大学大学院医学系研究科脳神経外科学	斉藤延人 教授
黄 海波	煙台毓 頂医院胸外科主治医師	東京大学大学院医学系研究科器器外科学	中島 淳 教授
鐘 躍思	中山大学附属第三医院肝胆外科主治医師	東京大学大学院医学系研究科肝胆膵外科学・人工臓器移植外科学	國土典宏 主任教授
張 春瑜	中日友好医院院外医療発展弁公室研究実習員	東京大学大学院医学系研究科臨床疫学経済学(公衆健康医学)	橋本英樹 教授
王 芳	山東大学齊魯医院放射科主治医師	東京大学医科学研究所附属病院放射線科・放射線部	桐生 茂 准教授
趙 棟	首都医科大学附属北京同仁医院重症医学科(中心ICU)主治医師	東京医科歯科大学医学部附属病院集中治療部	三高千恵子 部長
丁 江峰	深/市南山区人民医院口腔科主治医師	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科歯髄生物学	須田英明 教授
丁 雪芳	北京積水潭医院口腔科住院医师	東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科顎顔面矯正学	森山啓司 教授
陸 楽	中国人民解放軍南京軍区南京総院院中西医結合科住院医师	慶応義塾大学医学部リウマチ内科	竹内 勤 教授
程 嬌影	中日友好医院婦産科主治医師	東京医科大学大学院医学研究科産科婦人科学	井坂恵一 主任教授
王 邵華	上海市第一人民醫院胸外科主治医師	国立がん研究センター中央病院消化管腫瘍科(食道外科)	日月裕司 副科長
劉 翔宇	中国人民解放軍南京軍区南京総院院神経外科主治医師	国立精神・神経医療研究センター病院脳神経外科	大槻泰介 部長
苑 宇哲	中国医学科学院輸血研究所輸血伝染病研究中心助理研究員	国立医薬品食品衛生研究所生物薬品部ウイルス安全性研究室	佐佐敬介 室長
楊 婷婷	山東省青島市疾病予防控制中心病原微生物檢驗科主管技師	国立感染症研究所ウイルス第二部	李 天成 主任研究官
蔣 海山	南方医科大学南方医院神経内科主治医師	新潟大学脳研究所病理学	高橋 均 教授
杜 莉	上海市婦女保健所産科質量管理与信息科研究実習員	金沢医科大学衛生学	山田裕一 教授
左 立	南京医科大学附属常州第二人民医院泌尿外科主治医師	名古屋市立大学大学院医学研究科腎・泌尿器科学	郡健二郎 教授
王 俊	中国人民解放軍南京軍区南京総院院心血管内科主治医師	京都大学大学院医学研究科循環器内科学	木村 剛 教授
許 松	中国人民解放軍南京軍区南京総院院泌尿外科主治医師	京都大学大学院医学研究科泌尿器科学	小川 修 教授
薛 鵬	上海市第一人民醫院腫瘍科主治医師	京都大学大学院医学研究科臨床腫瘍薬理学	金井雅史 特定講師
姜 洋	哈爾濱医科大学基礎医学院病理教研室講師	大阪大学大学院医学系研究科病態病理学	青笹克之 教授
胡 春穎	山東省千佛山医院康復二病房主管護師	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻成人看護学(慢性期)	清水安子 教授
謝 成婕	広東省口腔醫院牙周科主治医師	大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学	村上伸也 教授
毛 莉	淮安市第一人民醫院内分泌科主治医師	近畿大学医学部再生機能医学	梶 博史 教授
伍 洲煒	上海市第一人民醫院皮膚性病科主治医師	九州大学大学院医学研究院皮膚科学	古江増隆 教授

別表 1

財団法人日中医学協会 役員名簿

(所属及び役職は役員就任時)

会 長	森 岡 恭 彦	日本赤十字社医療センター名誉院長
副 会 長	高 久 史 麿	日本医学会会長
	横 倉 義 武	社団法人日本医師会会長
理 事 長	安 達 勇	静岡県立静岡がんセンター参与
常任理事	江 藤 一 洋	日本歯科医学会会長
	大 柳 治 正	近畿大学弘徳学園近大姫路大学副理事長
	小 川 秀 興	順天堂大学理事長
	加 我 君 孝	国立病院機構東京医療センター臨床研究センター名誉センター長
	酒 谷 薫	日本大学医学部教授
	篠 崎 英 夫	国立保健医療科学院名誉院長
	橋 本 敬太郎	横浜薬科大学教授
	羽生田 俊	社団法人日本医師会副会長
	日 比 紀 文	慶應義塾大学医学部教授
	平 岡 眞 寛	京都大学大学院医学研究科教授
理 事	池 谷 田鶴子	順天堂大学医学部非常勤講師
	今 井 一 洋	武蔵野大学客員教授
	牛 尾 恭 輔	国立病院機構九州がんセンター名誉院長
	大久保 満 男	社団法人日本歯科医師会会長
	大 槻 勝 紀	大阪医科大学生命科学解剖学教授
	木 村 政 之	日本製薬団体連合会理事長
	児 玉 孝	社団法人日本薬剤師会会長
	近 藤 達 也	独立行政法人医薬品医療機器総合機構理事長
	坂 本 す が	公益社団法人日本看護協会会長
	庄 田 隆	第一三共株式会社代表取締役会長
	高 倉 公 朋	東京女子医科大学顧問
	田 平 武	順天堂大学大学院教授
	花 岡 一 雄	J R 東京総合病院名誉院長
	林 謙 治	国立保健医療科学院名誉院長
	星 合 昊	大阪府済生会富田林病院院長
	丸 野 政 雄	中国科学院上海薬物研究所名誉教授
	武 藤 徹一郎	がん研究会有明病院メディカルディレクター・名誉院長
	森 山 紀 之	国立がんセンターがん予防・検診研究センターセンター長
監 事	金 井 淨	公認会計士
	杉 本 恒 明	公立学校共済組合関東中央病院名誉院長



別表 2

財団法人 日中医学協会評議員名簿

(所属及び役職は評議員就任時)

朝 倉	均	こうかんクリニック院長
阿 部	裕	労働者健康福祉機構大阪労災病院名誉院長
荒 木	孝二	日本歯科医学会副会長
池 田	裕	医療法人社団芳洋会磯子中央病院院長
石 井	正三	社団法人日本医師会常任理事
石 河	修	大阪市立大学医学部附属病院 病院長
石 館	光三	公益財団法人東京生化学研究会常務理事
市 川	和孝	日本製薬工業協会元理事長
一 戸	達也	東京歯科大学水道橋病院院長
稲 葉	裕	実践女子大学教授
猪 熊	茂子	日本赤十字社医療センターリウマチセンター長・アレルギーリウマチ科部長
今 泉	英明	今泉産婦人科院長
井 廻	道夫	昭和大学医学部教授
大 田	洋二郎	静岡県立静岡がんセンター口腔外科部長
緒 方	剛	茨城県筑西保健所所長
小 川	彰	岩手医科大学理事長・学長
小 川	忍	公益社団法人日本看護協会常任理事
尾 崎	由基男	山梨大学大学院医学工学総合研究部教授
影 井	昇	財団法人日本寄生虫予防会理事
笠 原	正貴	慶應義塾大学医学部特任講師
加 藤	久豊	社団法人日本画像医療システム工業会会長
加 藤	抱一	公害健康被害補償不服審査会委員
金 原	秀雄	有限会社カネハラトレーディング相談役
河 野	信博	医療法人優和会介護老人保健施設プルミエール施設長
韓	晶岩	北京大学基礎医学院中西医結合学教室教授
北	潔	東京大学大学院医学系研究科教授
北 中	進	日本大学薬学部教授
北 村	唯一	社会福祉法人あそか会あそか病院院長
木 村	光孝	九州歯科大学名誉教授
栗 原	英見	広島大学大学院医歯薬学総合研究科教授
黒 川	頭	日本医科大学武蔵小杉病院院長
黒 〆	紀正	東京医科歯科大学名誉教授
五 島	瑳智子	東邦大学名誉教授
古谷野	潔	九州大学大学院歯学研究院教授
齊 藤	大三	日本橋大三クリニック院長
酒 井	シヅ	順天堂大学医学部医史学研究室名誉教授

桜井芳明	国立病院機構仙台医療センター名誉院長
佐々木一之	東北文化学園大学医療福祉学部学科長・教授
佐藤田鶴子	日本歯科医学会副会長
佐藤信紘	順天堂大学理事・特任教授・名誉教授
澤宏紀	NPO法人日中健康科学会会長
清水正嗣	大分大学医学部名誉教授
下村克朗	互惠会大阪回生病院前顧問
正山征洋	長崎国際大学薬学部教授
杉山清	星薬科大学教授
鈴木邦彦	社団法人日本医師会常任理
住友雅人	日本歯科大学生命歯学部学部長
住吉金次郎	佐田厚生会佐田病院副院長
諏訪文彦	大阪歯科大学理事・副学長・教授
高橋和久	順天堂大学主任教授
高松研	東邦大学医学部部長
田上順次	東京医科歯科大学大学院歯学部学部長
田口鐵男	大阪大学名誉教授
武田隆男	医療法人財団康生会武田病院グループ会長
田中雅夫	九州大学大学院医学研究院教授
谷美智士	日本東方医学会名誉会長
津田喬子	社団法人日本女医会会長
土山秀夫	長崎大学名誉教授
常光謙輔	済生会西条病院名誉院長兼センター長
杜子威	蘇州大学医学院名誉理事
中島信也	社団法人日本歯科医師会常務理事
名川弘一	労働者健康福祉機構理事長
鍋谷欣市	杏林大学名誉教授・昌平クリニック院長
根本則道	日本大学教授
伯井俊明	社団法人大阪府医師会会長
花輪壽彦	学校法人北里研究所東洋医学総合研究所所長
早石修	財団法人大阪バイオサイエンス研究所理事長・名誉所長
日暮眞	高崎健康福祉大学大学院特任教授
福生吉裕	財団法人博慈会老人病研究所所長
古川俊之	国立病院機構大阪医療センター名誉院長
方一如	大阪歯科大学歯科東洋医学室教授
前田隆秀	日本大学松戸歯学部歯学科教授
前田健康	新潟大学歯学部学部長
町田幸雄	東京歯科大学名誉教授
松井比呂美	社団法人日本女医会副会長
松村英雄	日本大学歯学部教授

丸山	茂	医療法人社団丸山会丸山歯科医院理事長
御子柴	克彦	理化学研究所脳科学総合研究センター発生神経生物研究チームチームリーダー
水野	昇	京都大学名誉教授・生理学研究所名誉教授
箕田	健生	とだ眼科名誉院長
宮田	侑	明海大学理事長
村上	恵一	社団法人日本歯科医師会専務理事
室賀	昭三	温知堂室賀医院院長
望月	清志	京歯科大学非常勤講師
山口	建	静岡県立静岡がんセンター総長
山田	陽城	北里大学北里生命科学研究所教授
山中	宣昭	東京腎臓研究所所長
山本	昌弘	財団法人日本生命済生会附属日生病院名誉院長
家森	幸男	武庫川女子大学国際健康開発研究所所長
姚	建	山梨大学大学院医学工学総合研究部准教授
吉倉	廣	国立感染症研究所名誉所員
李	天成	国立感染症研究所主任研究官
渡邊	裕司	放送大学富山学習センター所長

2012 年度事業報告附属明細書  
公益財団法人日中医学協会  
TEL 03-5829-9123  
FAX 03-3866-9080  
発行日 2013 年 5 月 7 日  
発行人 安達 勇

〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-3 住泉KMビル6階